

文化飛翔

報告～第3回山口県総合芸術文化祭を振り返って～

よこがお～会員紹介～

トピックス&インフォメーション

リレーエッセイ文化の小径

2010
春号
Vol. 6



山口県総合芸術文化祭を

振り返って

国民文化祭の成果を継承し、山口県のさらなる文化力の向上を目指して創設された山口県総合芸術文化祭も、平成二十二年で二回目の開催となりました。

メインフェスティバル

十一月一日〜三日までの三日間、岩国市のシンフォニア岩国を会場に「メインフェスティバル」を開催しました。

■メインステージ

県民創作型公演「滴・流・光・宙」

(開催日：十一月一日)

メインステージの準備は、開催一年前からスタートしました。国民文化祭やまぐち二〇〇六での「合唱の祭典」、「オーケストラの祭典」や青少年を対象とした吹奏楽クリニック、邦楽体験ワークショップの取組実績がある岩国市での開催であり、西日本有数の響きを誇るシンフォニア岩国が会場となること、これまでにない音楽公演に挑戦することを決定しました。



テーマについては、地元岩国市の音楽家、文化団体、シンフォニア岩国、市教育委員会等と議論を重ね、さらに指揮者・音楽監督として全国で活躍され、シンフォニア岩国でのミュージッキングでもおなじみの矢澤定明氏を芸術監督に迎え、アド

☆プログラム☆

第1部 「滴」 水〜誕生

- ◎わらべうた
あんたがたどこさ、かごめかごめ、ずいずいづつころばし、とおりやんせ 等
- ◎童謡・唱歌
春の小川、てるてる坊主、しゃぼん玉、どじよっこふなっこ、里の秋、村祭、七夕、故郷
- ◎神楽 「八岐大蛇」

第2部 「流」 川〜海へ

- ◎「水上の音楽」(G.F.ヘンデル) 「序曲」、「第3番」、「エア」
- ◎朗読「水のいのち」より「川」
- ◎「モルダウ」(B.スメタナ)

第3部 「光」

壮大なる響き

- ◎神楽 「天地地祇」
- ◎「アイーダ」(G.ヴェルディ) 第一幕より「フィナーレ」 第二幕より 「イントロダクション」 第二幕より 「凱旋の場」

第4部 「宙」

空高く〜未来へ

- ◎スーパープラネタリウム 「星の旅」
- ◎「ジュピター」(G.ホルスト)

バイスを受けながら検討を進めました。そして、岩国市を流れる「錦川」のイメージから「水」をテーマに、「自然と人間」との関わりの大切さを音楽で伝えよう」ということになりました。

吹奏楽に箏を組み込んだスペシヤルオーケストラと、公募で集まった県民合唱団合わせて総勢四〇〇人による大コーラレーション演奏への挑戦です。

場面の間に錦川上流に伝わる上沼田神楽が登場したり、プラネタリウムが上映されるという矢澤さんのアイデアは、出演者もリハールまで知らされておらず、その見事な演出は大絶賛を博しました。

約半年にわたる練習を重ね、公募出演者をはじめ多くの関係者が一丸となって

舞台展開 ～ストーリー～

♪第1部「滴」《水〜誕生》

水滴が落ちる音が響く中、かわいらしい幼稚園児・保育園児が登場。水の誕生です。園児たちは命を授かった喜びを元気いっぱいに演技。やがて水滴が小さな流れへと姿を変えていく様子を、園児に替わって現れた小学生たちが、ピアノと箏を伴奏に見事なハーモニーにより表現。



♪第2部「流」《川から海へ》

あちらこちらから集まってくる小さな流れは「錦川」となり海へと向う。「水上の音楽」では、箏と木管楽器の音色が、満々と水を漕ぎ流れる川の様子を表し、おなじみの「モルダウ」では、混声合唱を加えたダイナミックな演奏により、荒々しく猛威を振るう「錦川」を表現。

♪第3部「光」《壮大なる響き》

第3部はメインステージのハイライト。70人の吹奏楽と13人の箏、それに140人の混声合唱によるオペラ「アイーダ」は迫力満点。冒頭に登場する日本の「神楽」が、エジプトを舞台とした「アイーダ」の「神への祈り」とシンクロするシーンは圧巻。中盤ではステージ前面と2階の観客席に配置した18人のトランペット隊が「凱旋進行曲」をホールいっぱいに響かせ、その光景はまるで観客に降り注ぐ光のよう。

♪第4部「宙」《空高く〜未来へ》

いよいよフィナーレ。第3部の「壮大なる響き」から一転、ホールの照明が落ち、漆黒の世界に静寂が訪れる。世界屈指のプラネタリウム「メガスター」が神秘的な星空を映し出す。チェロの音色にのせて山口県が誇るテノール歌手藤田卓也氏によるジュピターの独唱が、観客を無限の「宇宙」空間に誘う。ソプラノ歌手吉村華織氏の独唱が加わり、さらに女声合唱、男声合唱が重なり合い、最後は観客も一緒になっての大合唱へ。



取り組み、創り上げたメインステージ。「多くの力が集まる」と素晴らしいものができると感動した。「総合芸術文化祭を毎年鑑賞しているが、毎回特色があり、次回もとても楽しみたい」との声が寄せられるなど、「文化・芸術の力」で会場を埋め尽くした観客に大きな感動を与えることができました。

子ども夢プロジェクト大発表

(開催日：十一月三日)

国民文化祭やまぐちで全国初の取組として実施された「子ども夢プロジェクト」は、山口県総合芸術文化祭に引き継がれ、今回で四回目となります。

今回、チャレンジしたグループは、保育園児から高校生までの二七グループ。それぞれのグループが自分たちの夢やアイデアの実現に向けて、練習や制作活動を積み重ね、「子ども夢プロジェクト大発表」では、総勢四〇〇人の子どもたちがその成果を元気いっぱいに発表しました。内容は、ダンスやお



分野別フェスティバル

分野別フェスティバルは、山口県文化連盟に加盟する分野別の県域文化団体が主体となって開催するイベントで、八月〜十二月までの五箇月間にわたり、音楽や文芸、生活文化等、様々な文化イベントが県内各地で繰り広げられ、多くの方々の御参加をいただき、大きな成果を上げることができました。



講師(指導者)の

紹介・派遣レポート

地域の文化芸術活動支援事業

山口県文化連盟では、県内各地で行われる各種文化教室、学校での部活動等で実技指導などを行う講師(指導者)を紹介・派遣し、地域の文化芸術活動をサポートする事業を行っています。

平成二十一年度は、御相談が多数寄せられ、延べ一八回、九人の講師の皆さんを派遣しました。今回は、その中から、昨年の秋に柳井市内の中学校で行われた指導の様子を御紹介します。

水墨画教室を開催

講師 周南水墨画連盟 木村 克久さん

「部活動の一環として、水墨画に挑戦させたい!」と顧問の先生から御相談を受けて実現した水墨画教室。平成二十一年九月二十六日(土)、場所は柳井市立柳井西中学校の図書室。見学のため朝九時に訪問すると、文芸部の生徒の皆さん二人を前に、既に木村さんの講義は始まっていました。

この日のために顧問の先生と事前に打合せを行った木村さん。予め用意しておいた資料を使って、絵を描く心構



水墨画という新たなジャンルに挑戦された生徒の皆さん。水墨画を通じて得られた貴重な経験を、今後の創作活動に生かしてほしいだけにと願っています。

え、水墨画の特徴など、水墨画の基礎についての話を終えると、早速実技指導に。



練習の素材として選んだのは「竹」。まずは手始めに、木村さんがお手本を披露。生徒の皆さんは緊張した様子でしたが、木村さんのアドバイスを受けながら徐々にコツを掴み、思い思いに「竹」を描き始めました。

午前の練習を終えると、午後からは各自が前もって準備しておいた下図を使って、学校文化祭で展示する作品制作に取り掛かりました。

「自分が感動したものを心を込めて、見る人にもその感動を伝えるような気持ちで描くように!」と声をかける木村さん。納得のいくまで何度もやり直す生徒の皆さんの姿は真剣そのもの。そして、最後に作品が完成した時、その表情は、達成感と喜びで溢れていました。

先生の感想

講師の木村先生にはとても丁寧な御指導いただきました。生徒達も初めての体験でしたが一生懸命に取り組んでいたように思います。自分たちの絵が額に入ったときは、とても嬉しそうでした。また、欠席の生徒には、後日、別に御指導に来てくださり、本当に感謝しています。

日頃の活動の中に「本物」にふれる機会を設けたい、そして、自分の感性を磨き上げたい、それだけの思いが実りました。

生徒の感想

私は今まで水墨画をしたこともなかったし、見たこともありませんでした。初めて木村先生の水墨画を見たときは、素直に「凄い」と思いました。「墨」だけで丸いものや堅いものを表すことが出来ることにとても驚きました。「細かい作業なのかな?」と思うところでもなく、大胆なところもたくさんありました。でも水墨画は、やっぱり難しかったです。



柳井西中学校の文芸部の生徒さんに水墨画を指導させていただきました。生徒さんは水墨画を描くことは初めての経験で戸惑いが感じられましたが、事前に自分の描きたい絵を下図として準備してもらい、個人ごとに絵に合わせて実際の描き方を指導しました。皆さん熱心で、筆の使い方、墨の付け方などを練習しながら、最後は初心者とは思えないほど上手な出来栄でした。

自分の絵が完成した時の喜びが感じられて指導者としても嬉しく思いました。これを機会に日本古来の水墨画に少しでも興味を持って、文化的な教養を持つた人に成長されることを期待しています。

講師として参加して

(周南水墨画連盟 木村 克久)

です。薄い墨で一色に描いてしまったり、逆に真っ黒になってしまったり大変でした。木村先生に手伝ってもらいましたが、上手に仕上がるとすごく嬉しかったです!

その他の取組紹介



中学校での合唱指導(8月)



中学校での俳句学習(10月~2月)



小学校での絵手紙教室(11月)



公民館でのフラワーアレンジメント教室(11月)

※講師(指導者)の派遣・登録に関する手続きについては、七ページを御覧ください。

このコーナーでは山口県文化連盟の会員の皆さんを紹介しています。

光文化協会

会長 廣中 典夫
〒74310011
光市光井九丁目18番3号
光市教育委員会文化振興課内
☎083317413607

光文化協会は、平成十七年五月に、旧光市と旧大和町の合併による新「光市」の誕生に伴い、光文化協会（昭和二十八年設立）と大和町文化協会（昭和四十九年設立）の合併により設立されました。当協会は、市内及び近隣の文化団体並びに文化愛好者の緊密な連絡、協調、育成に努め、市民文化の向上・発展を図ることを目的とし、今年で、設立5年を迎えます。

現在、七十一団体が加盟し、主要な取り組みとして、光市、光市教育委員会との共催により、光市文化祭（市文芸祭・市美術展・市芸能祭）を開催しています。

文芸祭は、川柳・短歌・俳句大会の三部門で開催し、美術展は、日本画、洋画、彫刻、書、写真、デザイン、陶芸、金属工芸、フランス刺しゅう、木彫、和紙ちぎり絵、俳画、押し花絵、フラワーアレンジメント、生花などの部門ごとに展示会を光市文化センターで開催しています。また、芸能祭は、歌謡まつり、創作舞踊の会、邦楽祭、吟剣詩舞大会、謡曲・仕舞・舞囃子大会、舞踊会、バレエ、ピアノ発表会、合唱祭などを光市民ホールで開催しています。とりわけ、芸能祭の「合唱祭」は、今年で四十二回目を迎え、歴史と伝統のある大会となっています。このような文化祭の開催は、会員の創作意欲の喚起、技量の向上などに繋がっています。文化祭などの文化事業は、市・市教育委員会をはじめ、多くの関係団体や関係機関の支援と協力により開催されています。今後とも会員一同、芸術・文化の振興、市民文化の向上に尽くしてまいります。



文化祭などの文化事業は、市・市教育委員会をはじめ、多くの関係団体や関係機関の支援と協力により開催されています。今後とも会員一同、芸術・文化の振興、市民文化の向上に尽くしてまいります。

菊川文化協会

会長 松本 敬子
〒75010307
下関市菊川町上保木1133
松本方
☎083128710482

菊川文化協会は、公民館活動の範囲を超えて広く地域文化、生涯学習の推進を図る協会が必要との考えから、文化活動に携わる有志が協議を重ねて平成三年四月一日、三十三団体・四〇八名から成る文化協会が誕生した。

現在の文化協会の主な活動は次のとおりである。

○菊川ふれあい芸能まつり（毎年四月第三日曜日、芸能広場・創作広場の二部門で本年第二十九回を迎える）

○菊川文化産業祭（毎年十一月中旬土曜・日曜。文化と産業の二部門で構成され、町をあげての大きな祭り近郷からの客も多い）

○文化バス研修旅行（文化の見聞を広め、会員相互の親睦を図る一泊二日の研修旅行を実施）

○広報誌「菊川文化」を年二回発行。協会発足以来手づくりで各世帯に配布。

*その他、各加盟体が独自で事業を展開している。

平成十七年、一市四町の合併により、旧下関市と旧四町の各文化協会が共同で取り組む「下関市芸術文化祭」が新しく創設された。それぞれ違った文化をもつ五つの文化協会が共同で取り組み、文化事業ごとに持ち回っており、そのことによつて各地で文化交流の輪が広がっていることを実感している。

合併後に開催している五文化協会会長会議で、協会の統合が大きな議題として検討されているが、五つの文化協会がそれぞれの地域文化の良さを遺しながら大きくまとまり、新しい時代に向けて市民文化が飛躍出来るよう力を注ぎ、活動を続けていきたいと考えている。



山口県交響楽団

団長 神代 祥男
〒74710042
防府市今市町2019 八木方
☎083512316990

山口県交響楽団（以下「山響」）は、県内のオーケストラを愛好する者約一〇〇名からなるアマチュアのオーケストラです。創設は一九五五年（昭和三十年）、約五〇名のメンバーによつて結成され、以来幾多の困難を乗り越えながら今日まで続いてきました。



さて、山響の主な活動として、まず毎年十二月に開催している定期演奏会があります。山響の最も重要な演奏会であり、著名な指揮者を招聘して約半年間のリハーサルを費やし、本番を迎えます。これまでも、黒岩英臣、飯森泰次郎、円光寺雅彦、現田茂夫といった世界的なマエストロの指導により、その都度山響は大きく成長することができました。なお、今年十一月五日(日)に山口市民会館にて第五十五回目の定期演奏会を開催する予定です。次は巡回芸術劇場演奏会です。県内の小中学校や高校を巡回して子どもたちに生の音楽を提供し、名曲の演奏とともに楽器紹介や指揮を体験させたりします。これまで約三十年にわたり、延べ三〇〇校以上で演奏をしてきましたが、大変好評を博しています。

このほかにも、バレエやオペラ、野外コンサート等、多彩な活動により、山口県芸術文化振興奨励賞、地域文化功労者表彰（文部科学大臣表彰）などを受賞しています。これからも山口県を代表するオーケストラであるという自覚を持って、地域の音楽文化の発展のために努力していきたいと考えています。御声援をよろしく願います。

山口県創作懇話会

会長 清永 唯夫
〒75510151
宇部市西岐波2540-21
大野方
☎083615116000

「団体の概要」

昭和五十八年二月に刊行している「やまぐち創作文芸」第一集の序文に、当時の会長伊藤正一が次のようにしたためていた。「山口県芸術祭の文学部門には、「詩」や「短歌」「俳句」「川柳」等の分野が活躍していましたが、創作（小説・児童文学）や文学評論、随筆等がありませんでした。お隣の広島県や福岡県の芸術祭にはこのような文学ジャンルの活躍が早くからあったと聞いておりました。昭和五十六年夏、詩人の和国健さんらが中心となって、県教育委員会に働きかけられ、そのご理解のもとに、県下の有志が相寄り、山口県創作懇話会の誕生をみましました。県教委文化課におかれましても、積極的にご指導・理解を示され、昭和五十七年の県芸術祭への参加のため、予算化にご尽力いただき、第十九回県芸術祭へはじめて参加と相なつた次第であります。第一回目の募集にもかかわらず、県下から創作二十七編、児童文学十六編、随筆三十二編の応募をみ、多くのすぐれた作品に接することができました」

「やまぐち創作文芸」第一集の発刊は、昭和五十八年二月二十八日となっております。以来、今日まで二十七年間、第二十七集刊行として記録に残されています。平成十八年には、山口県で第二十一回国民文化祭が開催され、全国初の随筆部門の募集をしたところ、多くの作品が全国から寄せられ、成功裡に幕を閉じることができた。そして、平成十九年には国民文化祭の成果を継承しようと「山口県文化連盟」が発足し、さらに山口県総合芸術文化祭が新たに開催されることとなり、私たち「山口県創作懇話会」もその一翼を担うこととなった。今年二〇一〇年には第四回山口県総合芸術文化祭が予定されており、本会も積極的に参加するべく準備を進めているところである。

「今後の予定と抱負」

熊本県には夏目漱石が熊本大学の前身第五高等学校に赴任していたことから、「草枕文学賞」を定期的募集し、また愛媛県ではやはり漱石が当時の松山中学校に赴任していたことに因んで「ぼつちやん文学賞」を募集していることが広く知られている。山口県では全国的にすつかり定着している「中原中也賞」もあって、その存在がクローズアップされているところであるが、小説、随筆のジャンルにおける本会の存在意義は計り知れない。近年、応募者の年齢が次第に高齢化してきたことを考えると、若い人達からの応募が期待されることである。



JBDF山口県ダンス連盟

理事長 安田 博文
〒75310088
山口市中河原町3-15
こいね会内
☎083192213356



ソシアル&ボールルーム（舞踏場）ダンスの起源は、ヨーロッパ宮廷の舞踏会であり、西洋においては社交界に必須のものとして発展してきたと言われています。

近代日本でも欧米に倣い、鹿鳴館時代に上流階級の間には社交ダンスが導入され、大正時代末以降、都市にダンスホールが開設されるにつれて、一般人にも社交ダンスが広まり、今や、世界No.1のダンス人口と、ダンスを愛好する団体の組織化が進んでいます。

西欧では、幼児からダンスを始め、中学校を卒業するまで週一回程度の稽古を積んでいきます。定年退職後は、家族ぐるみや夫婦で週一〜二回程度、一時間のダンスを楽しみます。子どもたちがダンスを習う目的は、美しい姿勢を保つこと、呆けたり寝たきりになることなく、生涯、健康で生き続けるためのものであります。老後もダンスを続けている夫婦の医療費は、通常の人の半分以下で、国家のためにもなっていると。我々日本人がイメージする華麗・優雅なダンスとは、また違った側面があるようです。

文部科学省では、平成元年から日本のダンス界とともに、学校教育におけるダンスのあり方について検討を進められました。そして、「昨年、「新中学校学習指導要領」が公表され、新たに「保健体育」の科目に「ダンスの必修化」が導入されたところであり、都道府県毎に順次研究会が開催されている予定です。平成二十三年度は、山口県で開催される予定となっており、我々山口県ダンス連盟といたしましても、教育現場の先生方とともに研究を進めてまいりたいと思っております。

財団法人岩国の文化を育てる会

理事長 三吉 忠光
〒74018585
岩国市今津町1丁目14番51号
岩国市教育委員会生涯学習課内
☎082712915211

財団法人岩国の文化を育てる会は、市民の多彩な文化芸術活動を育み、岩国を文化的に魅力的なまちにしたいという熱い思いにより、昭和五十九年に設立されました。

現在の主要な事業として、毎年二月に「岩国優秀文化賞表彰事業」を行っております。この事業は、様々な文化の多岐にわたる分野において、優秀な成績や実績をあげられた方々を表彰するもので、青少年から指導者まで幅広い市民を対象としており、文化芸術の顕彰活動において高い評価を受けています。この事業により、これからの岩国の文化の発展を担う多くの若い人材の育成にも、力を入れ支援しています。

また、「芸術文化ふれあいの旅」を実施し、県内外の美術館・博物館等文化施設を訪れています。この旅は、訪問する施設の学芸員による事前学習会で、芸術作品等の説明に耳を傾け、より深く作品を鑑賞し味わうことや、その地域の史跡の探訪・散策を通して、芸術や郷土文化を身近なものにするを目的としています。この事業には、毎年たくさんの方々の参加が得られ、大変好評を得ており、市民の芸術文化への理解・関心を高めるため、大いに役立っています。

さらに、岩国市を本拠として、自主的かつ創造的な芸術文化活動を行っている民間の文化団体に助成する「芸術文化活動支援事業」、コンサートや講演会等の特別事業、各種後援・共催事業など多岐にわたる事業を実施しています。

設立以来、「文化の輪を広げよう」を合言葉として、文化芸術の振興事業に取り組みまいりました。今後も、市民の文化活動を支援し、地域の活性化を図り、更なる岩国の文化の振興・発展に寄与できるよう頑張りたいと思っております。



山口県からのお知らせ

平成二十二年 文化関係事業の概要

日々の暮らしに潤いを与え、人々に生きる喜びをもたらしてくれる文化芸術。
山口県では、文化芸術の力で心豊かな元氣県づくりを進めるため、多くの県民の皆様の御参加をいただきながら、様々な文化振興事業を実施していきます。

山口県総合芸術文化祭推進事業

県下最大の文化の祭典「山口県総合芸術文化祭」は、今年度で4回目の開催となります。

本文化祭のシンボルとなるメインフェスティバルでは、今回は下関市を舞台に、地元の文化資源等を素材として、県民が手づくりで創り上げる「県民創作型公演」と子どもたちが提案する文化芸術の夢を実現させる「子ども夢プロジェクト大発表」を行います。

また、分野別フェスティバルでは、山口県文化連盟に加盟する県域文化団体が中心となって、音楽や文芸、生活文化など、多彩な分野にわたる文化イベントを繰り広げます。

〈概要〉

- ・メインフェスティバル
開催時期 十一月初旬(予定)
開催場所 下関市民会館
- ・分野別フェスティバル
開催時期 五月～十二月
開催場所 県内各地

美術館まちなか交流促進事業

美術館が、商店街や文化団体など、地域の人たちと一緒に、「まち」を舞台にして、作品展示やワークショップなど、アートに関する様々なイベントを実施し、文化芸術による地域の新たな魅力づくりとその発信を進めます。

〈概要〉

- ・県立美術館 HEART(ハート) 2010
開催時期 九月～十月
主な内容 第六十四回山口県美術展覧会、美術館主催によるアートイベント等

- ・萩美術館・浦上記念館 萩まちなかアート
開催時期 九月～十月
主な内容 陶芸館開館記念事業と連携したアートイベント等

美術館子ども芸術文化普及事業

「HEART(ハート)2010」や「萩まちなかアート」と連携して、子ども、学生等を対象に、山口県美術展覧会受賞作家によるワークショップや陶芸づくりを本格的に体験させるワークショップなどを行い、子どもたちの創造力の育成や芸術文化に対する意識の醸成を図ります。

萩美術館・浦上記念館陶芸館開館記念展開催事業

陶芸館のオープンを記念して、現代陶芸、伝統工芸をテーマとした展覧会を開催します。

〈概要〉

- ・三輪休雪展
開催時期 九月十一日～十月二十四日(四十日間)
内容 萩焼の技法と素材を背景に現代感覚にあふれる独特の表現世界を創出してきた十二代三輪休雪の足跡を紹介
- ・日本のわざと美展
開催時期 十一月三日～十二月五日(二十九日間)
内容 工芸技術の重要無形文化財保持者(人間国宝)や保持団体の作品等により、日本の伝統工芸の最高の「わざと美」を紹介

*開館に併せて、伝統工芸士の全国大会として知られる「伝統的工芸品月間国民会議全国大会」が萩市で開催されます。

情報満載！県ホームページ「文化情報やまぐち」

県内で開催される文化イベント情報や文化芸術団体、芸術家・指導者等に関する情報のほか、県民の皆様が文化芸術に親しむを持っていただくための様々な文化芸術情報を収集し提供しています。

主なコンテンツ

- ◇イベント・募集案内情報
山口県文化連盟加盟団体や文化施設等が行う文化芸術に関するイベント等の情報を提供しています。

◇文化人材バンク・文化芸術団体一覧

地域や学校等において実技指導や講義などを行うことのできる芸術家・指導者等や、県内で活動されている文化芸術団体の情報をデータベース化し公開しています。

◇見た！聴いた！やまぐち文化レポーターがゆく！

「やまぐち文化レポーター」が、県内各地で開催される文化芸術活動を取材して、様々な視点から文化芸術の魅力レポートしています。

◇文化ボランティア

文化ホール、美術館、図書館などの文化施設等において文化芸術活動の側面的な支援に取り組んでいるボランティア活動団体の情報を掲載しています。
*文化人材バンク・文化芸術団体の情報の充実に向けて、多くの皆様の御登録をよろしく願います。
*各種情報については、直接、インターネット上から登録することも可能です。

◇文化情報やまぐちホームページアドレス

<http://bunka.pref.yamaguchi.lg.jp/bunka/>

◇お問い合わせ先 山口県文化振興課

TEL 0833-9333-2610
FAX 0833-9333-4829

E-mail a19300@pref.yamaguchi.lg.jp

平成二十一年度

秋の文化・芸術関係表彰受賞者の皆さん

- 叙勲
重広 昭雄(旭日双光章)
地域文化功労者表彰
(文部科学大臣表彰)
- 中西 輝磨(芸術文化関係
鷹の舞保存会
(文化財保護関係)
- 山口県選奨
奥野 保正(演劇/演劇)
桑原 伸一(文芸/創作)
三吉 忠光
(一般文化/文化団体の活動)
- 山口県文化功労賞
吉岡 一生(美術/写真)
- 尾崎 眞吾
(美術/イラストレーション)
萩陶芸家協会(美術/陶芸)
- 長津功三良 (文芸/詩)
- 木原 治美(音楽/詩吟)
- 宮本 隆吉(音楽/邦楽)
- 宮本 隆吉(音楽/能楽)
- 山口県吟詩舞踊総連盟
(音楽・舞踊/吟詩舞)
- 瀬戸 静子(舞踊/洋舞)
- 山本 宣幸
(生活文化/華道)

文化芸術活動に対する各種支援情報
をご紹介します。
*近く募集が予定されているものな
どを掲載しています。

平成二十二年度 エネルギー文化・
スポーツ財団助成事業（後期）

◇対象者

◇対象事業

中国地域に所在する文化・スポーツに関する団体
美術の展示活動、音楽の公演活動、伝統文化の保
存・伝承・復活・復元活動及び発表活動、アマチュ
アスポーツの振興であつて、中国地域在住者が過半
数を占め中国地域内において行われる活動
※平成二十二年十月一日から平成二十三年三月
三十一日までに行われる事業が対象です。

◇助成金額

助成対象経費の二分の一を限度
（原則一〇万～五〇万円／一件）

◇募集期間（予定）

平成二十二年五月から六月

◇申込方法

当財団所定の申込書に必要事項を記入の上、(県)文
化振興課、社会教育・文化財課又は学校安全・体育
課)又は財団事務局に提出。
※申請があつた事業が全て助成されるとは限りませ
ん。

※詳細については、財団が二十二年五月に発行する
募集要項を参照してください。

◇お問い合わせ先

エネルギー文化・スポーツ財団事務局
(http://www.gr.energy.co.jp/bunspo/)
〒730-0041
広島市中区小町4-33 中国電力内
TEL 082-1542-13639
FAX 082-1542-13644
E-mail zj00003@pnet.gr.energy.co.jp

文化連盟の講師が地域の文化芸術活動をサポート
地域の文化芸術活動支援事業

学校や地域で文化芸術活動をされている皆様には、
さらなるレベルアップのため、本事業を有効に活用し
ていただきたいと考えております。
また、こうした地域や学校等のニーズに添えていく
ために、講師（指導者）陣を一層充実させていきたい
と思っておりますので、会員の皆様の積極的な登録をお願い
します。

◇実施の流れ

- ①申込み（利用者）↓②講師紹介（事務局）↓③
打合せ（講師・利用者）↓④実技指導・講座等実
施

◇経費負担

- 山口県文化連盟の負担で、一回の指導につき交通
費相当額二〇〇〇円（税額控除後）を支給
- 申込者（利用者）に謝金、交通費の支給は求めな
い
- お花やお菓子などの材料費は申込者（利用者）の
負担

◇講師（指導者）の要件

- 山口県文化連盟に加盟する団体（正会員）に所属
すること
- 地域や学校等の文化芸術活動において実技指導・
講義などが行えること
- *随時登録を受け付けています。
- ※三ページで講師（指導者）による実技指導の様子を
紹介しています。



「ちよるる募金」にご協力ください!

来年開催の「おいでませ!山口国体」、「おいでませ!山口大会」の成功
に向け県民の皆様にも両大会を支え、盛り上げていただく取組として、「お
いでませ!山口国体・山口大会募金（愛称：ちよるる募金）」を行って
います。

集まった浄財は、両大会のボランティア活動や花いっぱい運動等国体県
民運動などの大会運営に活用します。皆様のご協力をよろしく願います。



おいでませ!山口国体・山口大会募金推進委員会

〒753-8501 山口市滝町1-1 県政資料館2階
TEL: 083-933-4800

http://www.choruru.pref.yamaguchi.lg.jp/kokutai/bokin/

お問い合わせ先

文化の小徑

おひろめ☆たい志

しばし杳然と会場を眺めていた。大きなステージの真ん中の最前列に座って観客席を眺めて「終わった…」と呟いていた。周りでは業者さんが慌しく撤去作業をしている。その時着ているのはいつものピエロ衣装ではなくて「国民文化祭やまぐち二〇〇六プログラム委員」ネーム入りのTシャツ。そうしていると「お疲れ様でした」と肩をたたいてくれた県職員の人。「お疲れ様でした」という言葉以外は何も思いつかないし、声にも出なかった。(平成十八年十一月十二日きさらぎ元氣ドーム 国民文化祭閉会式終了直後)

平成十七年九月、開催一年前に実施した「おひろめ☆たい志 決起大会&パフォーマンスフェスタ」は、「文化維新おひろめ☆たい志」の、ある方の何気ない小さな話がかきつけとなって、本当に実現した。今でこそ「協働」や「市民参画」が推進されているが、そんな意味すら考えずに皆で懸命に創り上げた。その繋がりには二〇一〇年の今でも継続させていただいている。そして迎えた開会式ではピエロのPちゃんとしての開会宣言をさせていただいた。八、〇〇〇人を目の前にしての宣言は、たった数行の



山口パフォーマンスネットワーク 代表
藤井 一之

メッセージではあったが、その体験は一生忘れられない財産となった。閉会式では「おひろめ☆たい志」によるウエルカム歓迎イベントを実施。各団体との折衝、打ち合わせ、進行。あの桁外れに大きなステージ、ドーム外のエリアを切り盛りさせていたのだのも貴重な経験となった。その時のご縁で、山口県内のパフォーマンス団体のネットワーク「山口パフォーマンスネットワーク」を立ち上げて活動させていただいている。山口県全体で進めているポップ・ステップ・ジャンプの大きな目標、「住み良さ日本一の県づくり」。これからは今までの恩返しの意味も含め、これまでの経験を生かして、「住み良さ日本一おひろめ☆たい志」として活動していきたい。まずは二〇一一年開催の「おいでませ！山口国体・山口大会」に向けて。



賛助会員の皆様

平成二十一年九月から平成二十二年三月までに入会いただいた賛助会員の皆様です。

賛助会員を募集しています

本連盟の活動に御協力いただける賛助会員(個人又は団体)を広く募集しています。

年会費 1口 5,000円

- 賛助会員の皆様には、会報、その他文化情報誌をお届けします。
- 入会受付は随時いたしておりますが、会員期間は入会日からその事業年度の3月31日までとさせていただきます。

申込方法

所定の入会申込書兼振込書にて年会費のお振り込みをお願いします。

詳しくは、山口県文化連盟事務局までお問い合わせください。

編集後記

この春で山口県文化連盟が発足して3年になります。この間、山口県総合芸術文化祭の開催をはじめ、文化講演会の開催や指導者の紹介・派遣など独自の事業にも取り組み、活動を充実させてきました。

一昨年来の不況の影響が、明るい話題がなかなか聞こえてきませんが、こういう時代だからこそ、文化芸術の力で地域を元気にしていくことができたらと思っています。

みんなの力で成功させよう！ 2011



山口県文化連盟
山口県文化振興課
山口県文化振興課
山口県文化振興課